



## 講義録レポート

講義録コード

00-3-30-1-01-01

講 座	簿記検定講座	科目①	
目標年		科目②	商業簿記講義
コース	3級コース	回 数	1 回
		通算回数	1 回

収録日	2022年 12月 22日		
講師名	苫米地 静 講師	内 訳	板書枚数 枚 補助レジュメ枚数 22 枚 その他 ( ) 4 枚

講義構成	講義① 29 分 → 講義② 31 分 → 講義③ 71 分		
実施テスト	有 ・ (無)		
対応テスト	<ミニテスト>	第 回	
	<答練・演習>	第 回	
使用教材	●合格テキスト	P. 2 ~ P. 33	
	●合格トレーニング	P. ~ P.	
	●その他	P. ~ P.	
配付教材・資料	●教材(テキスト・問題集)	( )	
	●補助レジュメ ( )	22 枚	講義録添付 (有・無)
	●その他 (正誤表、学習進度表、勘定科目一覧、合格報告のお願い)	4 枚	講義録添付 (有・無)
備考	~DVD・Web受講生各位~ 黒板を写すカメラのスイッチング(切替)は講師が行っている都合上、映像中に一部講師が画面に映らない場合もございますが、故障ではありません。音声及び本講義録をご参照の上、ご受講ください。		

この講義録の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。

TAC簿記検定講座



003-4385-1013-11

3級合格テキスト・トレーニング Ver. 14.0 正誤表

# 簿記検定正誤表

科目	日商簿記3級 商業簿記
目	合格テキスト・合格トレーニング Ver. 14.0

3級商業簿記テキスト・トレーニングの訂正事項は以下のとおりです。

ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

恐れ入りますが、以下の正誤をご確認のうえ、ご利用いただきますよう、お願いいたします。

なお、増刷の場合は、すでに下記正誤が反映されている場合もございます。ご了承ください。

## 【合格テキスト】

ページ	訂正箇所	誤	正
86 頁	冒頭の文章 2 行目	かわ てがた 為替手形	かわせ てがた 為替手形

正誤表は、TAC WEB SCHOOL のマイページ上にて掲載しております。

ご確認をお願いいたします。

## 3級 学習進度表【3級商業簿記講義】

《《 3級/2023年6月合格目標, 2023年11月合格目標, 2024年2月合格目標 》》

合格テキスト【3級Ver.14.0】を使用

## 3級 商業簿記講義 (全10回)

講義回	学習テーマ (商業簿記)	重要度
第1回	テーマ01 簿記の意義	★★
	テーマ02 財務諸表と簿記の5要素	★★★
	テーマ03 日常の手続き	★★★
第2回	テーマ04 商品売買Ⅰ	★★★
	テーマ05 商品売買Ⅱ	★★★
第3回	テーマ06 現金・預金	★★★
	テーマ07 小口現金	★★
	テーマ08 クレジット売掛金	★★★
	テーマ09 手形取引	★★★
	テーマ10 電子記録債権・債務	★★★
第4回	テーマ11 その他の取引Ⅰ	★★★
	テーマ12 その他の取引Ⅱ	★★★
	テーマ13 その他の取引Ⅲ	★★★
第5回	テーマ14 さまざまな帳簿の関係	★★
	テーマ15 試算表	★★
	テーマ16 決算	★★★
	テーマ17 決算整理Ⅰ (現金過不足)	★★
第6回	テーマ18 決算整理Ⅱ (売上原価)	★★★
	テーマ19 決算整理Ⅲ (貸倒れ)	★★★
第7回	テーマ20 決算整理Ⅳ (減価償却)	★★★
	テーマ21 決算整理Ⅴ (貯蔵品)	★★
	テーマ22 決算整理Ⅵ (当座借越)	★★
	テーマ23 決算整理Ⅶ (経過勘定項目) (「【3】収益の前受け」まで)	★★★
第8回	テーマ23 決算整理Ⅶ (経過勘定項目) (「【4】費用の未払い」より)	★★★
	テーマ24 決算整理後残高試算表	★★★
	テーマ25 精算表	★★★
第9回	テーマ26 帳簿の締め切り (英米式決算)	★★★
	テーマ27 損益計算書と貸借対照表	★★★
	テーマ28 株式の発行	★★★
第10回	テーマ29 剰余金の配当と処分	★★★
	テーマ30 税金	★★★
	テーマ31 証ひょう	★★★
	テーマ32 伝票	★★

(注) 合格テキストの「SUPPLEMENT」以外は、すべて講義で取り扱います。

※ 上記のカリキュラムは、今後変更となる場合もございます。



## 日商簿記3級の勘定科目一覧表

貸借対照表関係の勘定科目		損益計算書関係の勘定科目	
資 産		費 用	
【企業が所有するもの・権利・債権】		【収益を獲得するために使われたものおよび労働力】	
通貨および換金可能な通貨代用証券	現 金	販売したさいに引渡した商品の取得原価	売上原価(仕入)
少額な支払時に必要な手許資金	小 口 現 金	従業員の労働力提供契約に対する対価	給 料
銀行への現金預入れ額(引出しは自由)	★ 普 通 預 金	チラシ・看板等、宣伝活動の支払額	広 告 宣 伝 費
預金の一種で引出しに「小切手」を用いる	★ 当 座 預 金	電話代・切手代等の支払額	通 信 費
銀行への現金預入れ額(満期まで預入れ)	★ 定 期 預 金	バス代他、移動・出張宿泊のための支払額	旅 費 交 通 費
手形金額を後日受取る権利	受 取 手 形	事務用品等、少額物品の消費額	消 耗 品 費
掛売上代金を後日受取る権利	売 掛 金	電気・ガス・水道代の支払額	水 道 光 熱 費
クレジットカード提示による掛売上代金	クレジット売掛金	固定資産税・印紙税等、費用となる税金	租 税 公 課
電子的に記録・管理されている債権	電子記録債権	土地の借用による地代の支払額	支 払 地 代
期末(又は期首)の商品在庫額(三分法)	繰 越 商 品	建物(部屋等)の借用による家賃の支払額	支 払 家 賃
手付金等の商品代金の前渡額	前 払 金	売掛金等の債権の回収不能額	貸 倒 損 失
誰かの代わりに支払ったときの請求の権利	★ 立 替 金	少額またはその他の費用	雑 費
他社が発行の商品券代金を受取る権利	受 取 商 品 券	将来の活動による貸倒れの見積計上額	貸倒引当金繰入
貸借契約を結ぶ際に支払う敷金や保証金	差 入 保 証 金	固定資産の使用等による価値減少額	減 価 償 却 費
郵便切手・収入印紙等の期末保有額	貯 蔵 品	生命保険や損害保険などの保険会社への支払額	保 険 料
貸付けを行ったときの返済請求の権利	★ 貸 付 金	商品発送時の費用(当社負担)	発 送 費
手形を用いた場合の資金の貸付け額	手 形 貸 付 金	建物等の修繕に係る費用	修 繕 費
商品以外の代金等を後日受取る権利	未 収 入 金	預金の振り込みや引き出しに係る手数料	支 払 手 数 料
内容・金額が不明な場合の支払い金額	仮 払 金	社会保険料の会社負担部分	法 定 福 利 費
中間申告時に納付する法人税額	仮 法 人 税 等	商品等の保管に係る費用	保 管 費
商品仕入れ時に支払う消費税	仮 払 消 費 税	商工会議所や自治会等に支払う会費	諸 会 費
当期に支払った費用のうち次期以降の分	★ 前 払 費 用	借入金に対する利息の支払額	支 払 利 息
当期の収益のうちの未収分	★ 未 収 収 益	活動とは無関係に生じた少額の損失	雑 損 ( 雑 損 失 )
営業用の事務所・店舗・倉庫等	建 物	固定資産の売却によって生じた損失	★ 固 定 資 産 売 却 損
営業用に使用する物品全般(OA機器等)	備 品	会社の利益に対して課される税額	法 人 税 等
営業用の運搬車両(トラックなど)	車 両 運 搬 具		( そ の 他 )
事務所・店舗等の敷地	土 地		
	( そ の 他 )		
資本(純資産)		【ものおよび労働力を提供して得た対価】	
【将来返済しなければならない義務・債務】		【ものおよび労働力を提供して得た対価】	
手形金額を後日支払う義務	支 払 手 形	商品を販売して受取った対価(売価)	売 上
掛売上代金を後日支払う義務	買 掛 金	仲介等、役務の提供に対する対価	受 取 手 数 料
電子的に記録・管理されている債務	電子記録債務	貸付金に対する利息の受取額	受 取 利 息
手付金等の商品代金の前受額	前 受 金	土地の貸付による地代の受取額	受 取 地 代
源泉税等、取引内容に応じた一時預り額	★ 預 り 金	建物(部屋等)の貸付による家賃の受取額	受 取 家 賃
借入れを行ったときの後日返済の義務	★ 借 入 金	少額またはその他の収益	雑 益 ( 雑 収 入 )
手形を用いた場合の資金の返済額	手 形 借 入 金	固定資産の売却によって得た差益	★ 固 定 資 産 売 却 益
当座預金残高を超過している資金借入れ	当 座 借 越	前期以前に貸倒れ処理した債権の回収額	償 却 債 権 取 立 益
商品以外の代金等を後日支払う義務	未 払 金	差額補充法による見積額の超過額	貸倒引当金戻入
株主配当金の未払い額	未 払 配 当 金		( そ の 他 )
確定申告時に納付する法人税額	未 払 法 人 税 等		
納付する消費税額	未 払 消 費 税		
内容・金額が不明な場合の受取り金額	仮 受 金		
商品販売時に受け取る消費税	仮 受 消 費 税		
当期の費用のうちの未払分	★ 未 払 費 用		
当期に受取った収益のうち次期以降の分	★ 前 受 収 益		
売上債権の貸倒見積額(債権から控除)	● 貸 倒 引 当 金		
固定資産の価値減少の記録(資産から控除)	● 減 価 償 却 累 計 額		
	( そ の 他 )		
当期純利益		当期純利益	
( 当期純利益 )		( 当期純利益 )	

※ ●を付した勘定科目は、資産のマイナス勘定ですが、上記では便宜上貸方に記載しています。

※ ★を付した勘定科目は、具体的な名称を用いる場合もあります。

## 3級

### 第1回 テキスト P. 2～P. 33

講義 01	テーマ 01	簿記の意義
講義 02	テーマ 02	財務諸表と簿記の5要素
講義 03	テーマ 03	日常の手続き

- 1 -

『書き込みあり』

### I 簿記とは P. 2

**取引**・・・簿記上の取引(増えたら記録、減ったら記録)

**記録** その1 しわけ 仕訳 (取引をメモする) = 仕訳帳

その2 てんき 転記 (勘定科目ごとの増減集計) = 総勘定元帳

**報告**

#### 貸借対照表

資産	負債
	資本

#### 損益計算書

費用	収益

- 2 -

『書き込みあり』

## Ⅱ 財務諸表と簿記の5要素 P.6

### (1) 貸借対照表(B/S)＝期末における財政状態(財産)

貸借対照表		
資 産		負 債
① いわゆる財産	現金 1,000,000	借入金 900,000
② 債権 (現金などを受け取る権利)		① マイナスの イメージの財産
		② 債務 (現金などを支払う義務)
		資 本 (純資産)
		資本金 100,000
		正味の財産

- 3 -

『書き込みあり』

### (2) 損益計算書(P/L)＝一会計期間における経営成績(もうけ)

損益計算書		
費 用		収 益
稼ぐために費やしたもの ↓ 現金などを支払った理由 の一つ ↓ 損 ↓ 本当のもうけ	売上原価 300,000 (仕入)	売上高 1,000,000 (売上)
	当期純利益 700,000	どうやって稼いだか ↓ 現金などを受取った理由 の一つ ↓ 得

- 4 -

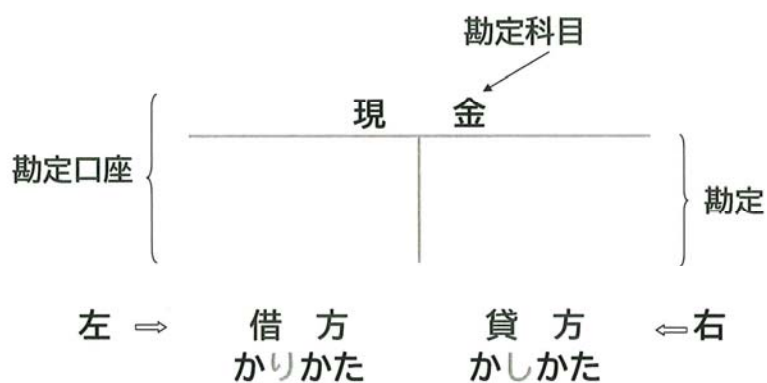
### Ⅲ 日常の手続き P.10

※ 簿記上の取引＝記録すべき取引

⇒ 増えたら記録、減ったら記録

- 5 -

『書き込みあり』



- 6 -

『書き込みあり』

## (1) 仕訳(増えれば定位置、減れば逆)

### ☆手順☆

- ① 取引内容から増減した勘定科目とその5要素を確認する
- ② 借方(左側)と貸方(右側)の記入を決定する  
⇒増えれば定位置、減れば逆  
増加：報告書の定位置と同じ側に記入  
減少：報告書の定位置と逆側に記入
- ③ 金額を記入し、仕訳を完成

※報告書の定位置

貸借対照表

資産	負債
	資本

損益計算書

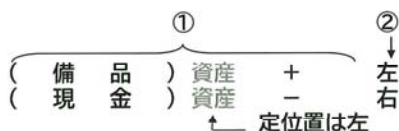
費用	収益

- 7 -

『書き込みあり』

〈取引例〉10/15 備品 1,000 円を購入し、現金で支払った。

【考え方】



【報告書の定位置】

貸借対照表

資産	負債
	資本

損益計算書

費用	収益

仕訳 10/15 ( 備 品 ) 1,000 ( 現 金 ) 1,000  
資産+ 資産-

- 8 -



## (2) 転記(左は左、右は右、あとは日付と相手科目)

### ☆手順☆

#### ① 金額を先に記入する

⇒仕訳の左側の金額は同じ勘定の左側へ

仕訳の右側の金額は同じ勘定の右側へ

#### ② 取引の日付と相手科目を記入する

- 9 -

『書き込みあり』

仕訳	10/15	( 備 品 ) 1,000	( 現 金 ) 1,000
		資産+	資産-

転記

		備	品
10/15	現 金	1,000	
		現	金
			10/15 備 品 1,000

- 10 -

『書き込みあり』

## 《例題 01》 P.16

4/1 株式会社設立にあたり、株式を 1,000 円で発行し、株主より現金で受け取った。

【考え方】 (現金) 資産 + 左  
(資本金) 資本 + 右

【報告書の定位置】

貸借対照表	
資産	負債
	資本

損益計算書	
費用	収益

仕訳 4/1 (現金) 1,000 (資本金) 1,000  
資産+ 資本+

- 11 -

『書き込みあり』

転記

現金		資本金	
4/1 資本金	1,000	4/1 現金	1,000

※イメージ

貸借対照表	
資産	負債
現金 1,000	資本 0
	資本金 1,000

- 12 -

『書き込みあり』

## 8/1 銀行より現金 1,000 円を借り入れた。

【考え方】      ( 現 金 ) 資産      +      左  
                   ( 借 入 金 ) 負債      +      右

【報告書の定位置】

貸借対照表

資産	負債
	資本

損益計算書

費用	収益

仕訳

8/1

( 現 金 ) 1,000	( 借 入 金 ) 1,000
資産 +	負債 +

- 13 -

『書き込みあり』

転記

	現 金		借 入 金	
4/1 資 本 金	1,000			
8/1 借 入 金	1,000		8/1 現 金	1,000

- 14 -

『書き込みあり』

11/1 商品 700 円を仕入れ、代金は現金で支払った。

【考え方】

(現金)	資産	-	右
(仕入)	費用	+	左

### 【報告書の定位置】

### 貸借対照表

資產	負債
	資本

損益計算書

費用	収益

仕訳 11/1 ( 仕 入 ) 700 ( 現 金 ) 700  
費用+ 資産-

- 15 -

『書き込みあり』

記

現 金		仕 入	
4/1 資本金	1,000	11/1 仕入	700
8/1 借入金	1,000	11/1 現金	700

- 16 -

2/1 商品を 900 円で販売し、代金は現金で受け取った。

【考え方】

(現金)	資産	+	左右
(売上)	収益	+	左右

【報告書の定位置】

貸借対照表

資產	負債
	資本

損益計算書

費用	収益

仕訳 2/1 (現金) 900 (売上) 900  
資産+ 収益+

『書き込みあり』

記轉

現 金		売 上	
4/1 資本金	1,000	11/1 仕入	700
8/1 借入金	1,000		
2/1 売 上	900	2/1 現 金	900



『書き込みあり』

## 【第1回のまとめ】

### ☆報告書☆

#### 貸借対照表

資産	負債
	資本

#### 損益計算書

費用	収益

- 19 -

『書き込みあり』

### ☆仕訳の動き☆

(資産) + × ×	(資産) - × ×
(負債) - × ×	(負債) + × ×
(資本) - × ×	(資本) + × ×
(収益) - × ×	(収益) + × ×
(費用) + × ×	(費用) - × ×

### ☆勘定の増減☆

資 産		負 債	
+	-	-	+
費 用		資 本	
+	-	-	+
		収 益	
+	-	-	+

- 20 -

『書き込みあり』

## ☆学習の流れ☆

### 【インプット期】講義第1回～第10回

- ・第1回から回数どおり順番に受講しましょう。
- ・講義後は、以下の流れで復習しましょう。
  - ① テキストを一読
  - ② テキストの例題と確認問題を解答
  - ③ トレーニングの★★★の問題を優先して解答

- 21 -

『書き込みあり』

### 【アウトプット期】総まとめ2回、解法力完成答練3回

- ・「総まとめの授業」＝3級全体の確認をします。  
具体的には、個々の論点をつなぎ、本試験に向けての応用力をつけていきます。
- ・「解法力完成答練」＝本試験と同じ60分問題練習をします。
- ・通信生の方は、アウトプット期の講義5回を各校舎で受講できるスクーリングの制度があります。
- ・ネット試験対策問題は、WEB SCHOOL 上でご用意しております。

合格を目指して、一緒に簿記の世界の扉をあけましょう！

- 22 -

## 3級

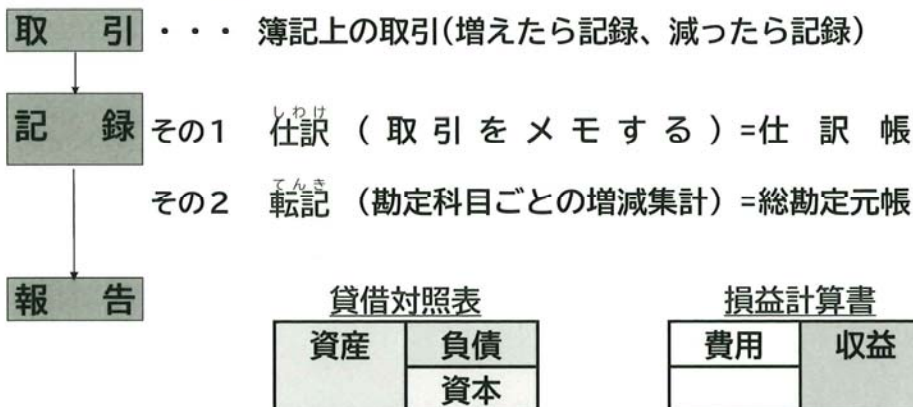
### 第1回 テキスト P. 2～P. 33

講義 01	テーマ 01	簿記の意義
講義 02	テーマ 02	財務諸表と簿記の5要素
講義 03	テーマ 03	日常の手続き

- 1 -

『書き込みなし』

### I 簿記とは P. 2



- 2 -

『書き込みなし』

## Ⅱ 財務諸表と簿記の5要素 P.6

### (1) 貸借対照表(B/S)=期末における財政状態(財産)

貸借対照表			
資 産		負 債	
① いわゆる財産	現金 1,000,000	借入金 900,000	① マイナスのイメージの財産
② 債権 (現金などを受け取る権利)			② 債務 (現金などを支払う義務)
		資 本 (純資産)	
		資本金 100,000	正味の財産

- 3 -

『書き込みなし』

### (2) 損益計算書(P/L)=一会計期間における経営成績(もうけ)

損益計算書			
費 用		収 益	
稼ぐために費やしたもの ↓ 現金などを支払った理由の一つ ↓ 損 ↓ 本当のもうけ	売上原価 300,000 (仕入)	売上高 1,000,000 (売上)	どうやって稼いだか ↓ 現金などを受取った理由の一つ ↓ 得
	当期純利益 700,000		

- 4 -

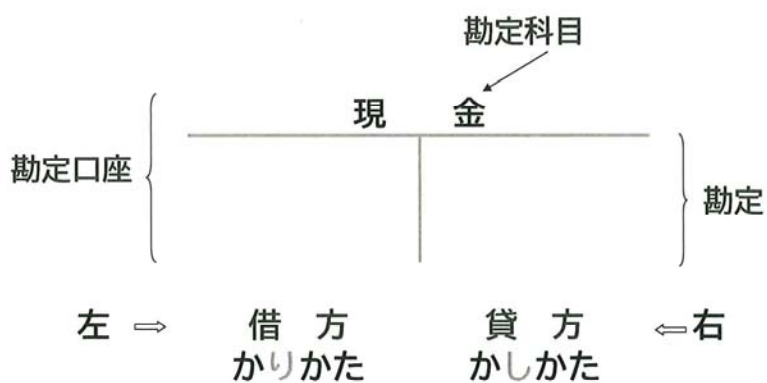
### Ⅲ 日常の手続き P.10

※ 簿記上の取引＝記録すべき取引

⇒ 増えたら記録、減ったら記録

- 5 -

『書き込みなし』



- 6 -



『書き込みなし』

## (1) 仕訳(増えれば定位置、減れば逆)

### ☆手順☆

- ① 取引内容から増減した勘定科目とその5要素を確認する
- ② 借方(左側)と貸方(右側)の記入を決定する  
⇒増えれば定位置、減れば逆  
増加：報告書の定位置と同じ側に記入  
減少：報告書の定位置と逆側に記入
- ③ 金額を記入し、仕訳を完成

※報告書の定位置

貸借対照表

資産	負債
	資本

損益計算書

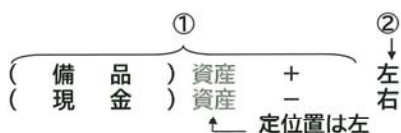
費用	収益

- 7 -

『書き込みなし』

〈取引例〉10/15 備品 1,000 円を購入し、現金で支払った。

【考え方】



【報告書の定位置】

貸借対照表

資産	負債
	資本

損益計算書

費用	収益

仕訳 10/15 ( ) ( )  
資産+ 資産-

- 8 -

## (2) 転記(左は左、右は右、あとは日付と相手科目)

### ☆手順☆

#### ① 金額を先に記入する

⇒仕訳の左側の金額は同じ勘定の左側へ

仕訳の右側の金額は同じ勘定の右側へ

#### ② 取引の日付と相手科目を記入する

- 9 -

『書き込みなし』

仕訳	10/15	( 備 品 ) 1,000	( 現 金 ) 1,000
		資産+	資産-

転記

備	品
現	金

- 10 -

『書き込みなし』

＜例題 01＞ P.16

4/1 株式会社設立にあたり、株式を 1,000 円で発行し、株主より現金で受け取った。

【考え方】 (現金) 資産 + 左  
(資本金) 資本 + 右

【報告書の定位置】

貸借対照表	
資産	負債
	資本

損益計算書	
費用	収益

仕訳 4/1 ( ) ( )  
資産 + 資本 +

- 11 -

『書き込みなし』

転記

現金	資本金

※イメージ

貸借対照表			
資産		負債	
現金	1,000	資本	0
		資本金	1,000

- 12 -

『書き込みなし』

8/1 銀行より現金 1,000 円を借り入れた。

【考え方】

(現金)	資産	+	左
(借入金)	負債	+	右

【報告書の定位置】

貸借対照表	
資産	負債 資本

損益計算書	
費用	収益

仕訳

8/1

( ) ( )  
 資產+ 負債+

『書き込みなし』

記云

現金

借入金

『書き込みなし』

11/1 商品 700 円を仕入れ、代金は現金で支払った。

【考え方】 (現金) 資産 - 右  
(仕入) 費用 + 左

【報告書の定位置】

貸借対照表

資産	負債
	資本

損益計算書

費用	収益

仕訳 11/1 ( ) ( )  
費用+ 資産-

- 15 -

『書き込みなし』

仕訳

現金	仕入

- 16 -



『書き込みなし』

2/1 商品を 900 円で販売し、代金は現金で受け取った。

【考え方】

(現金)	資産	+	左
(売上)	収益	+	右

### 【報告書の定位置】

貸借対照表	
資産	負債
	資本

損益計算書

費用	収益

**仕訳**

2/1

( ) ( )  
 資産 + 収益 +

- 17 -

『書き込みなし』

記

現金

壳 上

- 18 -

## 【第1回のまとめ】

### ☆報告書☆

#### 貸借対照表

資産	負債
	資本

#### 損益計算書

費用	収益

- 19 -

『書き込みなし』

### ☆仕訳の動き☆

(資産) + × ×	(資産) - × ×
(負債) - × ×	(負債) + × ×
(資本) - × ×	(資本) + × ×
(収益) - × ×	(収益) + × ×
(費用) + × ×	(費用) - × ×

### ☆勘定の増減☆

資 産		負 債	
+	-	-	+
費 用		資 本	
+	-	-	+
		収 益	
		-	+

- 20 -

『書き込みなし』

## ☆学習の流れ☆

### 【インプット期】講義第1回～第10回

- ・第1回から回数どおり順番に受講しましょう。
- ・講義後は、以下の流れで復習しましょう。
  - ① テキストを一読
  - ② テキストの例題と確認問題を解答
  - ③ トレーニングの★★★の問題を優先して解答

- 21 -

『書き込みなし』

### 【アウトプット期】総まとめ2回、解法力完成答練3回

- ・「総まとめの授業」＝3級全体の確認をします。  
具体的には、個々の論点をつなぎ、本試験に向けての応用力をつけていきます。
- ・「解法力完成答練」＝本試験と同じ60分問題練習をします。
- ・通信生の方は、アウトプット期の講義5回を各校舎で受講できるスクーリングの制度があります。
- ・ネット試験対策問題は、WEB SCHOOL 上でご用意しております。

合格を目指して、一緒に簿記の世界の扉をあけましょう！

- 22 -

WEB  
で  
合格報告

TAC簿記検定講座・建設業経理士検定講座・ビジネス会計検定講座

# 合格した喜びの<sup>👑</sup>声をお寄せください!!

～合格体験記のご執筆希望もお待ちしております!～

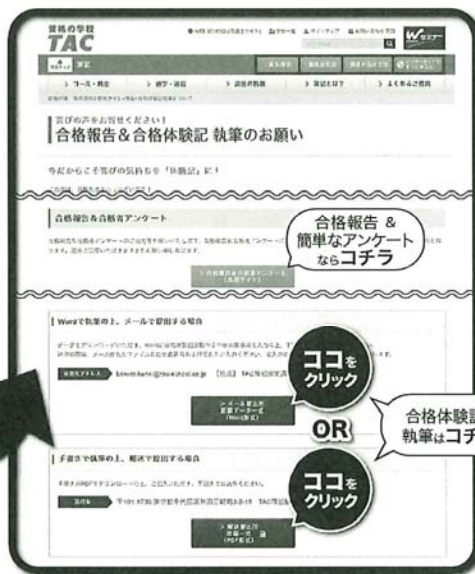
合格された暁には、TAC講師へ、合格のご一報と喜びのメッセージをお寄せください!  
皆様から合格のご一報をいただけることが、何よりTACの財産であり、講師にとっても  
今後の更なる指導への糧となりますので、合格の折には、是非皆様の合格の声をお聞かせ  
ください!

TAC簿記検定講座トップページ

TAC簿記 で 検索



皆様の合格の声をお待ちしております!



ぜひ!

さらに「合格体験記」をご執筆いただいた方には「電子マネーギフト」の謝礼もご用意しています

簿記の知識を活かして  
新しい自分へ!

簿記の知識を活かして、次のステップへ進むための情報が満載のサイトです!

『NEXT STAGE 応援サイト』



▶日商簿記上位級を目指す!

▶次の資格へチャレンジ!

▶経理実務講座で経理実務を疑似体験!

▶簿記を活かした就職! 転職!

TACネクストステージ

で 検索



人気のステップアップ資格については、TACホームページを  
ご覧いただくか、各講座のパフレットをご覧ください。

お問い合わせは  
TACカスタマーセンター

通話無料 0120-509-117  
月～金 9:30～19:00 / 土日祝 9:30～18:00